

2020年6月4日

「ドコケア」、外出支援スタート ～100名への外出支援ギフト（無償）の申込開始～

革新的なヘルスケアサービスをプロデュースして健康的な社会づくりに貢献することをミッションとするケアプロ株式会社（東京都中野区：代表取締役 川添高志、以下ケアプロ）では、日本初の交通医療サービスである「ドコケア」（<https://dococare.com/>）における、外出支援のマッチングを2020年6月4日（木）に開始することになりましたので、ご案内します。

▼ドコケアとは？

外出に介助が必要な方と、介助者を結びつけるウェブアプリです。自分で予約ができない高齢者や小児が利用する時は、家族や友人等がウェブアプリから依頼します。1時間1,500円からを推奨しており、システム手数料として、利用料金の25%がドコケアの収益となります。収益をもとにクレジット決済の手数料や損害賠償保険料等をドコケアが負担します。

▼社会的課題

新型コロナウイルスにより、外出自粛の中、社会生活に必要な通院や買物等を支援する必要があります。家族が遠くに住んでいたり、デイサービスが休止するなどして、外出ができず、ストレスや生活不活発病のリスクが高まっている医療的ケア児や認知症患者、障がい者、難病、がん患者等がいます。このような交通弱者は2,000万人いると推計しており、医療介護福祉人材が不足する中で、病や障がいがあっても安心して外出できる世の中をつくるのが社会的課題です。

【交通弱者2,000万人】

要介護3以上230万人、認知症700万人（2025年推計）、フレイル200万人（2013年推計）、買物難民700万人（2014年、経済産業省）、特定医療（指定難病）・特定疾患患者数98万人（2010年）、医療的ケア児1.8万人（2010年、医療的ケア児に対する実態調査）、障がい者936万人（2018年、生活実態調査、身体436万人、知的108万人、精神392万人）、その他（妊産婦、ひきこもり、外国人患者、運転を控えるべき高齢者、幼児、病児）

▼生活に必要な外出ができない100名への外出支援ギフト（無償）の申込開始

今回、ドコケアを利用する費用を寄付で支援する企画をし、クラウドファンディングで428,000円（6月1日現在）が集まりました。

【外出支援ギフト（無償）企画の概要】

外出支援申込期間：6月4日（木）～当選者100名到達次第終了

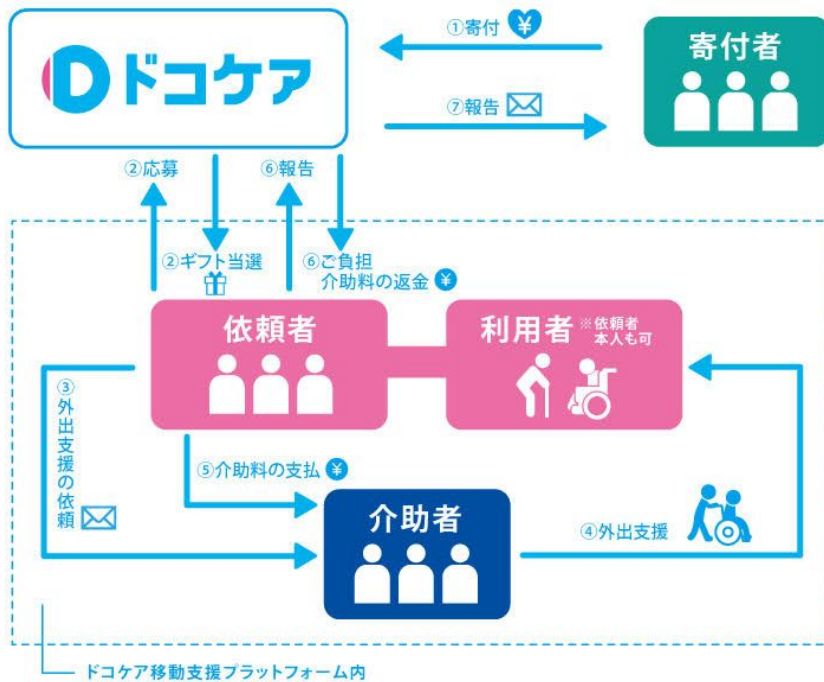
外出支援期間：6月25日（木）～8月31日（月）

外出支援申込URL：<https://forms.gle/UTrnFwyEQXDSgMkn8>

※ご家族等の支援が受けられず、社会生活上の困難があることを確認させていただきます

※時期や場所は政府や自治体の要請等を踏まえ、また、感染対策を行なった上で支援します

クラウドファンディングページ：<https://readyfor.jp/projects/covid19-dococare>



▼ドコケアが提供するユーザー体験

ドコケアを利用する目的は、社会生活に必要な通院や買物を中心に、通学や通勤、冠婚葬祭、旅行等を想定しています。移動方法は、徒歩や車椅子、公共交通機関、タクシーはもちろん、マイカーやレンタカー、カーシェアの活用も想定しています。高齢者の運転事故も社会問題となっており、移動手段がない地域で、通院支援等をドコケアに期待する声があります。

〔マイカー等利用について〕

いわゆる白タク営業は法律で禁止されています。ただし、子供の預かりや家事・身辺援助の提供が中心となるサービスの提供の一環であり、かつ運送に対する固有の対価の負担を求めないものであること等の条件を満たす場合は利用可能であると、道路運送法に定められています。

▼事業展開とSDGsへの貢献

初期は、在宅療養者と接点のある訪問看護師や訪問介護士、ケアマネジャー、医療ボランティア等に介助者として登録していただき、顔なじみの患者や利用者にドコケアでの移動支援を案内していただきながら、事業を展開していく予定です。そして、国連の持続可能な開発課題に貢献していきます。



